平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月７日

上 場 会 社 名	ザ・パック株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3950	URL	http://www.thepack.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）中尾　吉計	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役管理本部長	（氏名）木森　啓至	(TEL)06(6972)1221
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	平成25年９月９日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．　平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	38,445	△1.4	1,988	4.4	2,039	1.0	1,282	14.0
24年12月期第２四半期	38,987	3.4	1,904	△13.5	2,019	△10.9	1,124	△3.9

（注）　包括利益　25年12月期第２四半期 1,662百万円(27.9%)　24年12月期第２四半期 1,302百万円(7.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年12月期第２四半期	64　46	―
24年12月期第２四半期	56　54	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	60,446	37,734	62.4
24年12月期	65,532	36,569	55.8

（参考）自己資本　25年12月期第２四半期　37,716百万円　24年12月期　36,551百万円

２．　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年12月期	―	25　00	―	25　00	50　00
25年12月期	―	25　00			
25年12月期（予想）			―	25　00	50　00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．　平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	86,500	2.3	5,200	3.3	5,350	1.7	3,080	2.3	154　82

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	19,900,000株	24年12月期	19,900,000株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	6,562株	24年12月期	6,562株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	19,893,438株	24年12月期２Ｑ	19,893,448株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P.３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．　サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．　四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュフロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月1日から平成25年６月30日まで）におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクス政策による経済成長や金融緩和への期待感から、株価の上昇や円安による輸出環境の改善など全体には明るい兆しが見え始めましたが、当社の属する業界では、輸入製品や原材料の価格上昇、電気料金値上げ等のコスト増が生じる反面、製品価格はデフレ傾向が継続するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「私たちは、明るく元気に　最高、最善を目指します」をスローガンにグループ全社の結束を一層強化し、首都圏を中心とした市場開拓に注力する一方、遊休地の処分や不採算事業の見直しを図るなど、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は384億45百万円（前年同四半期比1.4％減少）、営業利益は19億88百万円（前年同四半期比4.4％増加）、経常利益は20億39百万円（前年同四半期比1.0％増加）、連結第２四半期純利益は12億82百万円（前年同四半期比14.0％増加）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

（紙加工品事業）

当第２四半期連結売上高の57.8％を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比30.5％）は、全体に堅調に推移し、紙袋の同上売上高は117億26百万円（前年同四半期比0.3％増加）となりました。

紙器（同上構成比14.1％）は、食品用パッケージの販売強化により、同上売上高は54億30百万円（前年同四半期比1.4％増加）となりました。

段ボール（同上構成比10.8％）は、主要顧客である家電業界の業績不振の影響を受け、同上売上高は41億47百万円（前年同四半期比9.2％減少）となりました。

印刷（同上構成比2.4％）は、東日本市場を中心として好調に推移し、同上売上高は９億36百万円（前年同四半期比12.0％増加）となりました。

以上により、この部門の同上売上高は222億40百万円（前年同四半期比0.9％減少）となりましたが、東京工場の減価償却費の逓減等によって、営業利益は13億65百万円（前年同四半期比31.6％増加）となりました。

（化成品事業）

当第２四半期連結売上高の20.7％を占めるこの部門では、紙おむつ用袋、米袋の需要が回復せず、同上売上高は79億47百万円（前年同四半期比4.4％減少）、営業利益は３億98百万円（前年同四半期比42.7％減少）となりました。

（その他）

当第２四半期連結売上高の21.5％を占めるこの部門では、繊維品および流通市場向けギフト品が堅調に推移し、同上売上高は82億57百万円（前年同四半期比0.3％増加）、営業利益は６億70百万円（前年同四半期比14.8％増加）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億86百万円減少し、604億46百万円となりました。これは主に「現金及び預金」・「投資有価証券」の増加、「受取手形及び売掛金」・「機械装置及び運搬具」の減少によるものです。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ62億50百万円減少し、227億12百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」・「短期借入金」の減少によるものです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11億64百万円増加し、377億34百万円となりました。これは主に「利益剰余金」・「その他有価証券評価差額金」の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて27億86百万円（30.8％）増加し、118億37百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少53億17百万円があった一方、棚卸資産の増加３億11百万円、仕入債務の減少44億83百万円等により27億15百万円の収入（前第２四半期連結累計期間は45億71百万円の収入、前第２四半期連結累計期間比40.6％減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出６億10百万円等があった一方、投資有価証券の売却による収入１億69百万円、有価証券の売却による収入17億円等により13億97百万円の収入（前第２四半期連結累計期間は17億17百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出８億70百万円、配当金の支払額５億円等により13億70百万円の支出（前第２四半期連結累計期間は12億31百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社の属する業界におきましては、円安に伴い輸入製品や原材料の価格上昇がある反面、依然、低価格競争が継続するなど、当面の間、厳しい経営環境が続くものと思われます。

当社は、このような状況の中、首都圏を始め、全社員一丸となって国内外の市場開拓、事業の拡大を行い、製品・サービスの開発と品質向上に注力して適正価格による販売に努め、事業内容の見直しや業務改革による合理化を一層推進して利益体質強化を図り、さらなる業績の向上に努める所存でございます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,140	9,240
受取手形及び売掛金	21,401	16,159
有価証券	3,198	3,199
商品及び製品	4,702	4,957
仕掛品	573	579
原材料及び貯蔵品	652	714
繰延税金資産	230	170
その他	1,325	796
貸倒引当金	△33	△24
流動資産合計	40,192	35,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,043	7,779
機械装置及び運搬具（純額）	5,509	5,159
工具、器具及び備品（純額）	283	272
土地	7,219	7,140
建設仮勘定	152	231
有形固定資産合計	21,209	20,584
無形固定資産	233	205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,769	3,118
繰延税金資産	875	506
その他	312	298
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	3,897	3,864
固定資産合計	25,340	24,654
資産合計	65,532	60,446

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,201	15,754
短期借入金	1,545	1,050
未払法人税等	1,576	586
賞与引当金	168	162
役員賞与引当金	27	13
その他	2,248	2,305
流動負債合計	25,766	19,872
固定負債		
長期借入金	562	187
退職給付引当金	2,531	2,552
その他	102	99
固定負債合計	3,196	2,839
負債合計	28,963	22,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,165	3,165
利益剰余金	30,696	31,481
自己株式	△6	△6
株主資本合計	36,409	37,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531	790
繰延ヘッジ損益	－	1
為替換算調整勘定	△390	△270
その他の包括利益累計額合計	141	521
少数株主持分	18	18
純資産合計	36,569	37,734
負債純資産合計	65,532	60,446

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	38,987	38,445
売上原価	30,357	29,814
売上総利益	8,630	8,630
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,780	1,752
給料及び手当	1,834	1,816
役員報酬	186	194
貸倒引当金繰入額	△14	△7
賞与引当金繰入額	88	89
役員賞与引当金繰入額	13	13
退職給付費用	204	199
減価償却費	434	347
賃借料	997	1,043
その他	1,199	1,192
販売費及び一般管理費合計	6,725	6,642
営業利益	1,904	1,988
営業外収益		
受取利息	35	39
受取配当金	30	34
その他	71	27
営業外収益合計	138	101
営業外費用		
支払利息	10	7
売上債権売却損	3	2
為替差損	－	33
その他	9	7
営業外費用合計	23	50
経常利益	2,019	2,039

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
特別利益		
投資有価証券売却益	－	97
固定資産売却益	269	－
特別利益合計	269	97
特別損失		
固定資産除却損	7	－
投資有価証券評価損	12	－
工場閉鎖損失	94	－
減損損失	30	－
特別損失合計	145	－
税金等調整前四半期純利益	2,142	2,136
法人税、住民税及び事業税	1,088	560
法人税等調整額	△69	294
法人税等合計	1,018	854
少数株主損益調整前四半期純利益	1,124	1,282
少数株主損失（△）	△0	△0
四半期純利益	1,124	1,282

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,124	1,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	258
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	25	119
その他の包括利益合計	178	379
四半期包括利益	1,302	1,662
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,303	1,662
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,142	2,136
減価償却費	1,133	972
減損損失	30	－
のれん償却額	6	4
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△41	△9
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2	△5
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△14	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	36	20
受取利息及び受取配当金	△66	△74
支払利息	10	7
固定資産売却損益（△は益）	△269	－
固定資産除却損	7	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△97
投資有価証券評価損益（△は益）	12	－
売上債権の増減額（△は増加）	4,696	5,317
たな卸資産の増減額（△は増加）	△68	△311
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,430	△4,483
その他	1,150	578
小計	5,334	4,043
利息及び配当金の受取額	59	68
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額	△810	△1,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,571	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,205	△1
有価証券の売却による収入	401	1,700
貸付けによる支出	△299	△10
貸付金の回収による収入	23	19
有形固定資産の取得による支出	△1,188	△610
有形固定資産の売却による収入	564	138
無形固定資産の取得による支出	△1	△10
投資有価証券の取得による支出	△10	△29
投資有価証券の売却による収入	－	169
その他	△0	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,717	1,397

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	31	－
長期借入金の返済による支出	△876	△870
配当金の支払額	△387	△500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,231	△1,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	43
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,631	2,786
現金及び現金同等物の期首残高	8,135	9,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,767	11,837

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以 上